

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル) 申請様式

① 学校名	九州情報大学		
② 大学等の設置者	学校法人麻生教育学園		
③ 設置形態	私立大学		
④ 所在地	福岡県太宰府市宰府6-3-1		
⑤ 申請するプログラム又は授業科目名称	KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム		
⑥ プログラムの開設年度	令和元年度		
⑦ 教員数	(常勤)	27 26 人	(非常勤)
			15 18 人
⑧ プログラムの授業を教えている教員数			11 12 人
⑨ 全学部・学科の入学定員	100 人		
⑩ 全学部・学科の学生数(学年別)	総数	453 437 人	
1年次	129 72 人	2年次	115 91 人
3年次	111 130 人	4年次	98 144 人
5年次		6年次	
⑪ プログラムの運営責任者	(責任者名)	荒平 高章	(役職名)
			准教授
⑫ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)	KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会		
	(責任者名)	荒平 高章	(役職名)
			委員長(准教授)
⑬ プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)	KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会		
	(責任者名)	荒平 高章	(役職名)
			委員長(准教授)
⑭ 申請する認定プログラム	認定教育プログラム		

連絡先

所属部署名	教務課長	担当者名	幸野 憲道
E-mail	kyomu@kiis.ac.jp	電話番号	092-928-4000

学校名：九州情報大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

プログラムを構成する科目下記1から6までを必修科目とし12単位を修得し、下記7から12までの選択科目の内3科目6単位以上の合計18単位以上を修得すること。

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	情報リテラシー演習 情報リテラシー演習Ⅱ	26	
2	情報学入門	27	
3	基礎数学	28	
4	情報倫理	29	
5	統計学入門	30	
6	経営情報論Ⅰ 経営情報学Ⅰ	31	
7	マーケティング論	32	
8	消費者行動論	33	
9	マーケティング・リサーチ	34	
10	経営分析	35	
11	ビジネスプログラミング	36	
12	経営情報論Ⅱ 経営情報学Ⅱ	37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

様式3

学校名：九州情報大学

プログラムの履修者数等の実績について

学部・学科名称	収容 定員	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		履修者数 合計	履修率
		履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
経営情報学部経営情報学科(社会科学)	240	166	11	208	12	224	1	148	0	3	0			749	312%
経営情報学部情報ネットワーク学科(社会科学)	200	152	15	170	30	147	7	87	1	6	0			562	281%
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
														0	#DIV/0!
合 計	440	318	26	378	42	371	8	235	1	9	0	0	0	1,311	298%

学校名：九州情報大学

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている ※モデルカリキュラム導入1ー1、導入1ー6が該当	日常生活や社会で起きている変化を知り、データやAIを活用した新しいビジネス／サービスについて学ぶ。本学経営情報学部の特徴を活かして、現代社会における情報システムやIT、ICTの最新動向について実例を交えて自らの生活とそれらがどのように密接に関連しているかを理解する。例えば、製造・流通・金融・ビジネスにおける活用事例や、消費者行動、企業の経営分析などを通して、多角的に社会の動向を捉える。	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報学入門	現代社会における実例の紹介(4, 5)、データAI利活用の最新動向(8, 9, 12, 13)
	経営情報論Ⅰ 経営情報学Ⅰ	製造・流通・金融における情報システム概要と実例(2～12)、データ活用の最新動向(14, 15)
	経営情報論Ⅱ 経営情報学Ⅱ	ビジネスにおけるデータ利活用の最新動向(5～12)
	マーケティング論	e-マーケティング、IT、ICTの最新動向(13, 14)
	消費者行動論	最新の消費者行動理論(7)
	マーケティング・リサーチ	家計調査年報を利用した分析(12～15)
	経営分析	経営分析(10～14)
	授業概要	

(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの

[illegible]

--	--

(3) 様々なデータ利
活用の現場におけ
るデータ利活用事
例が示され、様々な
適用領域(流通、製
造、金融、サービ
ス、インフラ、公共、
ヘルスケア等)の知
見と組み合わせる
ことで価値を創出す
るもの

[illegible]

授業概要

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする

[illegible]

授業概要

(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの

[illegible]

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	基礎数学、統計学入門
アルゴリズム基礎	
データ構造とプログラミング基礎	ビジネスプログラミング
時系列データ解析	
テキスト解析	
画像解析	
データハンドリング	
データ活用実践(教師あり学習)	
その他	

③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.kiis.ac.jp/general/department/kp/>

④ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

社会においてどのようにデータやAIを取り扱っているのか、そしてそれらを利活用しているのかに関する知識を身につけるとともに、データの取り扱い方やデータを読む力などの基礎的な能力を身につける。

学校名：九州情報大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会規則

② 体制の目的

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とした数理・データサイエンス・AI教育プログラムの実施に関する重要な事項を審議する。

③ 具体的な構成員

情報ネットワーク学科 准教授 荒平 高章(委員長)
 情報ネットワーク学科 助教 ディンダ・プラマンタ
 情報ネットワーク学科 助教 中島 直樹
 経営情報学科 准教授 秋吉 浩志
 経営情報学科 講師 宮崎 武
 教務課 課長 幸野 憲道

④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

科目のほとんどを低学年に設定し、基礎・教養科目の中からデータサイエンス教育に関連のあるものを選定することで、履修者数の確保を図る。

データサイエンスと本学の特色である経営・会計・情報の融合教育は非常に親和性が高く、該当科目を履修することで、データサイエンス教育の認定だけでなく、経営情報学の基礎力を修得できるように工夫することで、多くの学生が積極的に履修をするように働きかける。

各年度の履修率の目標は100%とする。さらに本プログラムの修了者数の目標を以下の通りとする。

令和3年度 10名
 令和4年度 20名
 令和5年度 30名
 令和6年度 40名
 令和7年度 50名

令和2年度までは、データサイエンス教育担当教員会議において、本学におけるデータサイエンス教育の履修者数向上に向けた検討を行ってきたが、令和3年度より、規則を整備し、名称をKIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会に変更するとともに構成員に事務職員を加えたことにより、積極的に学生へデータサイエンス教育へ促す体制が整った。卒業必修科目である情報リテラシー演習が本プログラム必修科目となっているため、履修率は100%を達成可能であるが、その1科目で終えることなく他のデータサイエンス教育科目を全学生が履修するよう促していきたい。その為、オリエンテーション等で本プログラムを修了する事のメリットなどを周知し、履修を促進している。また、令和3年度より修了者には修了証を授与することとし、令和4年度以降の修了者数の増加を目指したい。

⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

運営委員会の設置により、各学科に担当者を配置し、全学的な履修を支援・促進している。本プログラムにおける必修科目6科目及び選択科目6科目中5科目は両学科共通科目で構成されている。また選択科目のうち1科目は情報ネットワーク学科開講科目ではあるが、本学では他学科履修のうち16単位までを卒業単位として認めているため、全ての科目を学科によらず受講可能となっている。多くの学生が積極的に希望できるようにするために、1年次前期開講の必修科目を設定し、プログラム認定制度の存在を意識させ、自然な形で受講できるようにしている。

⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

本学部は、2年次より段階的に専門科目に移行していくようにカリキュラムが編成されている。したがって、あえて1年次、2年次開講科目を重点的に配置をした。そうすることで、入学時からプログラムに関するアナウンスをできるだけでなく、そのアナウンスが直接履修指導につながるため、より多くの学生への履修促進効果が期待できる。

具体的な方法としては、以下の取り組みが挙げられる。

- 従来より実施してきた各学期初日のオリエンテーションにおける、本プログラムに関するガイダンス資料の配布
- 本学ホームページに本プログラムの概要を掲載し、在学生だけでなく、受験生など入学前からの意識付け
- 各学期はじめに行われるゼミナール単位での成績配布の際の、教員による本プログラムについてのアナウンス
- 本学公式X(旧Twitter)やInstagramなどのSNSを用いた周知

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学は、教員一人あたりにつく学生数が少ない少人数教育を実施しているため、各担当教員が担当学生の現状を履修状況を含め把握している。したがって、履修指導については、以前よりきめ細かな指導を行ってきた実績があり、その延長線上に本プログラム認定のための履修指導を行うことは可能である。

また、講義については、講義時間外でのオフィスアワーが設定されており、学生の質問や相談といった就学相談に関する制度は確立されており、講義内容に関するフォロー体制は整っている。

さらに、本教育プログラムの履修については教務課で管理し、学生は教務課にて質問が可能な体制も整備しているため、多くの学生が修得できるようサポート体制を整えている。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学は、教員一人あたりにつく学生数が少ない少人数教育を実施しているため、各教員が担当学生の現状を履修状況を含め把握している。したがって、履修指導については、以前よりきめ細かな指導を行ってきた実績があり、その延長線上に本プログラム認定のための履修指導を行うことは可能である。

また、講義については、講義時間外でのオフィスアワーが設定されており、学生の質問や相談といった就学相談に関する制度は確立されており、講義内容に関するフォロー体制は整っている。また、3、4年生の上級生による学習相談室も週に1回開室しており、多くの学生が気軽に学習指導や質問、相談が出来るような体制を整えている。

学校名：九州情報大学

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	教務課において、プログラムの履修・修得状況のデータをピックアップし、データサイエンス教育担当者がプログラム履修者数を分析している。履修者数については卒業必修となっている科目も本プログラムの必修科目となっているため、本プログラム対象となる令和元年度入学以降の学生に関してはほぼ100%の学生が履修している。また、本プログラムは2年間かけて修了するプログラムとなっているため、令和2年度が修了者1号の出る年度であり修了要件を満たした学生は1名であった。
学修成果	FD委員会が実施している授業改善アンケートの項目のうち、新知識・考え方が得られたという項目においてプログラム対象科目に関する学生の理解度を推し量ることが出来る。その結果を各科目担当教員が評価・改善に活用している。本プログラム対象科目においては8割以上の学生が新知識・考え方が得られたと評価しており、データサイエンスに関するリテラシー教育は順調だと評価できる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本プログラム必修科目である情報リテラシー演習において上記授業改善アンケートとは別に学生の理解度を測るアンケートを15回授業の初回、中間、最終回と3回実施した。そのアンケートの結果、初回アンケート結果に比べて最終アンケート結果ではおよそ10%から13%程度増加するという結果となった。これらの結果から、本プログラム必修科目であり、データ分析の一連の流れを体験する内容を組み込んだ情報リテラシー演習という科目がうまく機能し学生の理解度をあげているといえる。しかし、本学は留学生も多く在籍しており、言葉の壁というのもこのアンケート結果に反映されている可能性もあり、今後も十分な検討・改良が必要であると考えられる。以上より、本学における学生アンケートを通じた習熟度の可視化は可能であり、この経験を他科目でも実践することで、さらに学生の講義内容の理解度の把握と講義へのフィードバックに活かすことが可能となる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラム必修科目である情報リテラシー演習において実施したアンケート結果は、次年度における本科目の内容や計画等に反映させており、学生に対する教育的配慮を十分に実施している。ただし、この教育効果に関する知見は、今年度以降のアンケート結果から得られるため、その推奨度やアンケートの効果については引き続き検討していく必要がある。

全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	新型コロナ感染防止対策の為、令和2年度は年2回ある履修登録等のオリエンテーションの際に実施する予定であったデータサイエンス教育に関する周知が困難になった。その為、データサイエンス教育に関する周知は、コミュニケーションと自己発見の授業や情報学入門の授業内でのアナウンス及び1年生へのコースガイダンスの際に行った。全学的な履修率に関しては卒業の必修科目が本プログラムの科目に含まれるため100%となるが、修了者を増やす為にはオリエンテーション等の全学生が集まる機会を用いた周知が必要になると考えている。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは令和元年度入学者カリキュラムよりはじまり、2年生開講科目も必修としている為、令和2年度に初めて修了要件を満たすことができる。その対象学年は令和3年度に3年生となるため、今後の就職活動状況や進路、その後の企業の評価について把握する仕組みについてはこれから構築していく予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本プログラム開始時に、福岡県中小企業家同友会の専務理事と本学の取り組みについてお話を頂いた。まさに中小企業にそのような人材がこれから必要であると好感触を得た。今後同プログラム修了者が就職した後に様々なフィードバックを頂いてよりよい教育プログラムにしていきたいと考えている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	モデルカリキュラムのリテラシーレベルの導入部分に準じた内容を展開し、例えば情報学入門においてデータサイエンスやAIがどのように研究に活用されているかなど学んだ先にある果実を提示することで好奇心を促す内容としている。また、研究だけでなくマーケティングや消費者行動についても講義中に具体的な実例をあげることでデータサイエンスやAIの活用範囲が広い事を伝えるようにしている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	本学の学生の多くは入学までに数学等理系科目についてあまり学習してきていない。そのような学生に対してどのような内容をどのように講義するとよいかデータサイエンス科目担当教員会議において議論し、その講義内容や実施方法の見直しを毎年考えている。参考となる材料としては、本学FD委員会が実施している授業改善アンケートの学生からのアンケートや講義中における学生の反応等を情報共有をし見直しについて考えている。例えば、情報リテラシー演習においてこれまでは単にWord、Excel、PowerPointの使い方を独立に講義していたものを、自らのタイピング練習の打鍵数のデータを半期の講義期間中毎回取得し、それをExcelを用いてビジュアル化し、Wordを用いてレポート、PowerPointを用いて発表する、といったデータサイエンスの流れを体験できるような構成にした。

※公表している場合のアドレス

② 自己点検・評価体制における意見等の公表の有無

有

<https://www.kiis.ac.jp/general/guide/kokai/>

ナンバリング (Numbering)						
1GCB-5792-12ET						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
情報リテラシー演習Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報) (数理・データサイエンス・AI入門)	223～	1年生・後期	2単位	選択	荒平 高章	
オンライン授業 online class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習Ⅰを修得していること。 基礎数学程度の素養があること。					
授業概要 Course Outline						
本講義では、ディプロマポリシーに基づき、現代社会の読み書きそろばんともいわれるデータサイエンスについて、その役割にはじまり、データ分析の基礎事項、分析手法の基礎について概説する。また、分析手法については、コンピュータを用いた分析演習も実施する。さらに、現代社会におけるデータサイエンスの応用事例についても触れ、2年次以降の履修計画の参考にしよう。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					○
	リーダーシップ Leadership					○
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
データサイエンスについて説明できる。データサイエンスに関連する情報倫理とその問題について説明できる。データ分析のためのデータ取得・管理方法について説明できる。データ分析の基礎(ヒストグラム・箱ひげ図・平均値・分散・散布図・相関係数・回帰直線)について説明できる。データサイエンスの手法について列挙でき、それについて説明できる。コンピュータを用いてデータ分析ができる。データサイエンスの応用事例について列挙できる。講義に参加できる。問題解決のために自ら行動することができる。						

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける。オフィスアワーの時間については掲示を確認すること。
また, クラスルームを開設するので, 講義に関する連絡はクラスルームで行う。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

学習の確認: ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
データサイエンス入門	竹村彰通 他	学術図書出版	978-4-7806-0730-7

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて資料を配布する。			

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

講義内演習・レポート課題(50%), 定期試験(50%)をもとに総合的に判断する。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し, 受講理由を明確にする. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第2回	データサイエンスの役割	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.1-13)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第3回	データサイエンスと情報倫理	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.14-33)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第4回	データ分析のためのデータの取得と管理	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第5回	データ分析の基礎 ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.45-55)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第6回	データ分析の基礎 散布図と相関係数	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.56-61)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第7回	データ分析の基礎 回帰直線	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.62-80)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)
第8回	データサイエンスの手法 クロス集計・回帰分析	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.81-89)を通読する. (2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2h)

第9回	データサイエンスの手法 ベイズ推論	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.90-92)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第10回	データサイエンスの手法 アソシエーション分析・クラスタリング	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.93-98)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第11回	データサイエンスの手法 決定木・ニューラルネットワーク	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.99-102)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第12回	データサイエンスの手法 機械学習とAI	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.107-112)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第13回	コンピュータを用いたデータ分析 Excel・Rによるデータ分析	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.114-142)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第14回	コンピュータを用いたデータ分析 Pythonによるデータ分析	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.143-159)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第15回	データサイエンスの応用事例	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.160-216)を通読する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する。(2h)
第16回 (定期試験)	定期試験を実施する	

ナンバリング (Numbering)						
1BIN-5690-12CT						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp
情報学入門 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	223～	1年生・前期	2単位	必修	中島 直樹	
情報学入門 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	219～222			選択		
オンライン授業 online class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	情報について学ぶ意識を強く持つことを期待します。					
授業概要 Course Outline						
学則第3条を踏まえて、情報学分野全般の基本的な知識(人工知能、ICTを含む)を習得することを目標とする。具体的には、情報処理や情報ネットワークのような技術的な内容だけではなく、情報や情報メディアおよびそれらの活用、活用する際の姿勢・態度について学ぶ。情報ネットワーク学科の他の先生方とのオムニバス形式で運用するため、順番が前後したり、内容に若干の変更があったりすることがあります。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。状況によりオンライン(Zoom)授業になることがある。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
情報や情報技術に興味を持ち、それを扱う際に欠かせない基礎知識を学び、またメディアリテラシーの素養を育む。						

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

ただ授業を受けるだけでなく、実生活でも身近になってきたネットショッピングサイトを題材に、そこで用いられている技術だけでなく、プラットフォーム、メディアとしての捉え方、活用する際の姿勢・態度についても考察する。その際には、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

初回からノートPCを持参。紙のノート・ルーズリーフでの学習を推奨。
ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「痛快！コンピュータ学」	坂村健	集英社	978-4087474282

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
※オムニバス形式のため、各回の担当者の評価を合計して科目全体の評価とする。授業担当者以外の評価は、1)提出物とみなす。
さらに、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	入門(1) 身近な例から始める情報と社会、情報とは(値、データなど)	
	事前学習 (内容・時間)	大学入学までの情報に関する学習を振り返ってまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	データ、情報、知識についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	入門(2) 情報の種類と特性(アナログ、デジタル)、意味、価値	
	事前学習 (内容・時間)	身近なアナログ、デジタルの例を探してまとめておく。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	アナログ、デジタルの違い、特徴、利点欠点についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	メディア(1) 媒体:メディアの種類と特性、媒介される対象としての情報	
	事前学習 (内容・時間)	身近なメディアについて、書き出してまとめておく。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	ノートをまとめ直す。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データサイエンス(1) データ、情報、知識	
	事前学習 (内容・時間)	データサイエンス、データリテラシーという用語について調べておく。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	データサイエンスの概要についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	データサイエンス(2) 人材、技術、事例	
	事前学習 (内容・時間)	データサイエンスの応用事例について調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	データサイエンティストの活躍分野、就職先について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	情報通信システム(1) 情報通信産業、スマートシティ	
	事前学習 (内容・時間)	スマートシティ、スマートソサエティ、スマートスピーカについて調べる。[2.0]
	事後学習 (内容・時間)	インターネットを支えるインフラについて調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	情報通信システム(2) モバイル通信	
	事前学習 (内容・時間)	IoT, ToSという用語、便利と危険のバランスについて調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	5Gで広帯域通信が可能になったらしてみたいことについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	情報と医療(1) 遠隔医療	
	事前学習 (内容・時間)	遠隔教育、通信教育、テレワークについて調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	遠隔医療に不可欠なインフラとその維持についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]

第9回	情報と医療(2) 再生医療と情報	
	事前学習 (内容・時間)	人工物と自然物の融合について考察し、まとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	開発競争と情報共有における問題、産業機密について考察。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	情報セキュリティ入門(1) 暗号入門	
	事前学習 (内容・時間)	暗号の歴史、暗号をトリックにした小説について調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	暗号の有用性についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	情報セキュリティ入門(2) PKI(Public Key Infrastructure)	
	事前学習 (内容・時間)	暗号の活用とそのためのインフラ(社会基盤)について調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	量子暗号について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	生体情報(1) 脳、生物、歩行	
	事前学習 (内容・時間)	人間の五感覚とセンサーとの対応、人間の代理としてのセンサーについて考察。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	二足歩行、四つ足、這うということの観察の仕方と再現についてまとめる。[2.0h]
第13回	生体情報(2) スポーツと情報	
	事前学習 (内容・時間)	eスポーツについて調べる。従来のスポーツとの違いをまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	従来のスポーツとeスポーツとゲームとの関係を考察してまとめる。[2.0h]
第14回	メディア(2) 情報メディアの光と影	
	事前学習 (内容・時間)	情報メディア、伝達メディア、表現メディアについて調べる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	情報の容器、道具としてのメディアの利点欠点をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習 (内容・時間)	14回の内容をまとめる。できるだけ紙のノートに書きだしてまとめる。[2.0h]
	事後学習 (内容・時間)	定期試験に向けて、想定問題を考え、対策を立てる。[2.0h]
第16回 (定期試験)	定期試験等	

ナンバリング (Numbering)								
1GGB-5270-12E								
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
基礎数学		共通	1年生・前期		2単位	選択	中島 直樹	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり				
履修の前提条件 Course Prerequisites		高校までの数学を復習して講義に臨むこと。						
授業概要 Course Outline								
情報、経済、経営などの分野では、現象のモデル化やシミュレーションによって現状把握や将来予測などが盛んに行われています。本講義では、ディプロマポリシーに基づき、モデル化の基礎となる数学を理解し、数学がどのように使われ、活用されているかを学びます。また、統計学に必要となってくる確率についても学習します。								
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)								
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						○
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						
		数量的スキル Mathematics						○
		情報リテラシー Information Literacy						
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						○
		問題解決力 Problem Solving						○
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy						
		自己管理能力 Self-management						
		チームワーク Teamwork						
		リーダーシップ Leadership						
		倫理観 Ethical Sense						
		市民としての社会的責任 Social Responsibility						
		生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)								
【知識】 ・定義・定理を説明できる。 ・問題演習において、適切な定義・定理を選択できる。 ・定義・定理を適切に使用できる。 【態度・習慣】 ・疑問点を尋ねることができる。 ・講義に参加できる。 【技能】 ・例題を模倣し、演習問題を解くことができる。 ・時間内で、与えられた問題を解くことができる。								

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

講義中に随時演習時間を設けるので、積極的に取り組むこと。
講義中に課題を指定するので、次回の講義までにノートに解いて提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねること。
オフィスアワーの時間は、掲示を参照すること。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

学習の確認: 毎回指定した課題を解くこと。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
基礎数学 式計算から微積の初歩まで	小澤善隆 編集 永井 敦 他	裳華房	978-4-7853-1556-6

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
大学基礎数学 キャンパス・ゼミ 改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-210-3
社会科学系学生のための基礎数学	塩出 省吾・上野 信行・ 柴田 淳子・中村 光宏 著	共立出版	978-4-32011-133-2

演習課題(50%)、定期試験(50%)の総合評価とします。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	数の分類と文字式	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第2回	式の計算1 (展開と因数分解)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第3回	式の計算2 (根号・累乗、方程式と不等式)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第4回	式の計算3 (複素数と2次方程式)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第5回	式の計算4 (整式の割り算と因数定理)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第6回	関数1 (1次関数、2次関数)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第7回	関数2 (分数関数、無理関数)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第8回	関数3 (指数関数)	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)

第9回	関数4（対数関数）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第10回	関数5（三角関数）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第11回	関数6（関数の極限）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第12回	関数7（微分）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第13回	関数8（積分）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第14回	確率1（順列・組み合わせ）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第15回	確率2（様々な確率）	
	事前学習 (内容・時間)	次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)						
1GGN-6710-12CT						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
情報倫理 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	1年・後期	2単位	必修	丹羽 崇之	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	新聞の切り抜きなどを続けて、情報社会、メディアの動向に注意すること。					
授業概要 Course Outline						
情報通信技術の発達により、利便性は飛躍的に向上した。一方で、大規模な情報漏洩やサイバー攻撃、個人情報の不正利用、プライバシー侵害など、犯罪や権利侵害も深刻になっている。豊かで安心して暮らせる社会を目指すためには、情報に関するモラルやルールを構築することは極めて重要である。この授業では、情報社会を構成する個人として、情報倫理の知識を身につけ、自ら考え行動する力を養う。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
	生涯学習力 Lifelong Learning					
到達目標 (Objectives)						
建学の精神をふまえ、情報社会の構成員として情報倫理の知識を十分に修得し、責任ある行動ができる。また、自分にかかわる人々の権利・利益を守ることができる。						

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

情報とモラルをめぐる事例を取り上げ、ディスカッションする。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

質問は授業の前後のほか、オフィスアワーを積極的に活用してほしい。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

情報学系の科目に加え、「知的所有権」、「法学」、「日本国憲法」、「民事法」、「会社法」などの法学系科目を受講することにより、理解を深めてもらいたい。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『改訂新版情報倫理〔第2版〕』	高橋・原田・佐藤・岡部	技術評論社	978-4297110819

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『情報社会と情報倫理』	梅本吉彦【編著】	丸善出版	978-4621304686

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

平常点(ディスカッションへの参加や小テスト)30点、筆記試験70点により総合的に評価する。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	はじめに	
	事前学習 (内容・時間)	「情報社会」にはどのような問題があるのか、新聞などで調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	配付資料を読み返し、学んだこと、理解したことをまとめる(2時間)
第2回	情報倫理について	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第1章を読み、「倫理」の意味と「情報倫理」の範囲を調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、「情報倫理」の重要性を確認する(2時間)
第3回	情報社会について	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第2章を読み、「情報社会」の歴史を調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、「情報社会」の特性を確認する(2時間)
第4回	ネット時代のコミュニケーション	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第3章を読み、情報化に伴うコミュニケーション手段の変遷について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、第3章の内容を整理する(2時間)
第5回	メディアの変遷について	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第4章を読み、「メディア」の歴史について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、現代における「倫理」の重要性を確認する(2時間)
第6回	メディア・リテラシー	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第5章を読み、「メディア・リテラシー」の定義について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、「メディア・リテラシー」の重要性を確認する(2時間)
第7回	情報技術とセキュリティ	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第6章を読み、情報技術とセキュリティについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、第6章の内容を整理する(2時間)
第8回	インターネットと犯罪	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第7章を読み、インターネットと犯罪について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、第7章の内容を整理する(2時間)

第9回	個人情報とプライバシー	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第8章を読み、「個人情報」「プライバシー」の意味を調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、「個人情報保護」の重要性を確認する(2時間)
第10回	知的所有権とコンテンツ	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第9章を読み、「知的所有権」の意味と種類を調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、「知的所有権」の保護について確認する(2時間)
第11回	企業と情報倫理	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第10章を読み、情報に関する企業の社会的責任について調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書と配付資料を読み返し、企業の関係者が守るべき倫理について確認する(2時間)
第12回	ビッグデータとAIの倫理	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第12章を読み、ビッグデータとAIについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、12章の内容を整理する(2時間)
第13回	デジタルデバインドとユニバーサルデザイン	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第13章を読み、ユニバーサルデザインについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、13章の内容を整理する(2時間)
第14回	ソーシャルネットワークサービスと情報モラル	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第14章を読み、ソーシャルネットワークサービスについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、14章の内容を整理する(2時間)
第15回	情報通信社会とリテラシー	
	事前学習 (内容・時間)	教科書第15章を読み、情報リテラシーとメディアリテラシーについて調べる(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	教科書および講義内容について復習をし、15章の内容を整理する(2時間)
第16回 (定期試験)	筆記試験	

ナンバリング (Numbering)						
1BIB-6110-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp
統計学入門	219～	2年生・前期	2単位	選択	中島 直樹	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学、情報数学 I を修得していることが望ましい。					
授業概要 Course Outline						
統計データには、アンケートや計測などで得られた1次データ(生データともいう)と、それらを何らかの目的で第三者がまとめた2次データがある。 本講義では、2次データの読み取りや、目的に沿ったデータのまとめ方や視覚化と分析について学ぶ。また、実際の調査データや実験データなどを用いてデータ解析の意味や現代社会における統計スキルの必要性について学ぶ。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					
到達目標 (Objectives)						
ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータの視覚化や基本統計量などを踏まえて、データの特性や関連性を理解し、統計データを通じた社会の見方や、エビデンス(証拠や根拠)を基にした議論の素養を身につけることを目標とします。また、データを読む力、説明する力の基礎を身につけ、データを扱えるようになることを目標とします。						

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)			
毎回の講義中に演習問題に取り組んでももらいます。			
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)			
連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。			
その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について			
毎回の講義中に演習問題に取り組んでももらいます。また、講義時間中に行えなかった問題については、次の講義までに自分で解答を考えます。			
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プレステップ統計学I 記述統計学 (プレステップシリーズ14)	稲葉 由之 (著)	弘文堂	978-4335000843
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
マンガでわかる統計学 素朴な疑問からゆる〜く解説 (サイエンス・アイ新書)	大上 丈彦 (著) メダカカレッジ (監修)	SBクリエイティブ	978-4797342512
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
中間試験(40%)、定期試験(60%)			

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	記述統計学について予習しておく(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う(2h)
第2回	統計データの分類	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第3回	統計データの集計	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第4回	集計表と各種グラフ	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第5回	度数分布表とヒストグラム	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第6回	中心の位置の統計量	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第7回	平均値	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第8回	中間試験	
	事前学習 (内容・時間)	前回までの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	教科書やノートを見ながら試験問題を解く(2h)

第9回	変化を表す統計量	
	事前学習 (内容・時間)	これまでの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第10回	散らばりの統計量	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第11回	標準偏差の活用	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第12回	散らばりのグラフ表現	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第13回	2変数の関連性	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第14回	記述統計と推測統計	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習 (内容・時間)	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題を行う。これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)							
1BMN-5360-22C							
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
経営情報学 I	223～	2年生・前期		2単位	必修	秋吉浩志	
経営情報論 I	～222				選択		
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		「経営学総論 I」「情報学入門」を履修していること。「情報テクノロジー（情報処理入門）」を履修し、ストラテジー分野について理解していることが望ましい。					
授業概要 Course Outline							
本学の建学の精神と3つのポリシーを基盤とした、本学の経営情報学の全体像を把握するための重要な科目である。 経営情報学とはなにか。その入り口の内容をさまざまな分野から説明を行っていく。 業種毎（製造業、流通業、金融業）のシステム構成や具体的システム事例（家電メーカ、コンビニエンスストア、銀行等）について解説する。 ITパスポート試験（ストラテジー分野）から出題した小テストを毎回実施する。 この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）必修科目である。							
授業を通して修得できる力（Competency Goals）							
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
		数量的スキル Mathematics					
		情報リテラシー Information Literacy					○
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
		問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy					
		自己管理能力 Self-management					
		チームワーク Teamwork					
		リーダーシップ Leadership					
		倫理観 Ethical Sense					
		市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
		生涯学習力 Lifelong Learning					
到達目標（Objectives）							
経営情報の基本的な理論の理解を目指す。さらに業種毎の経営情報システムの仕組み、特徴について正しく理解し、説明が出来るようになる。 また、社会で求められる経営情報に関する土台としての知識を習得し、他の基礎科目、および応用・発展科目へと導き、より深い知識を得る道しるべを得ることができる。							

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)			
毎回の授業で、授業内容をまとめた課題と実体験のレポート提出があります。意見、感想なども記入してください。 ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。 ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。 ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。 ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など			
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)			
基本的に研究室(2号館5階555研究室)にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。 研究室訪問の際、メール: akiyoshi@g.kiis.ac.jp にメール連絡をしておくことを薦める。(遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う)			
その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について			
外部試験: ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。 学修の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に該当事項を記入して、次回授業までに共有フォルダもしくは指定したGoogleクラスルームへ提出すること。			
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する。			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報・技術経営シリーズ10 ビジネス情報システム 経営の基礎から学ぶ 経営情報システム教科書 経営情報システム 第3版	薦田憲久、水野浩孝他 武藤明則 島田達己、高原康彦	コロナ社 同文館出版 日科技連	4339026301 9784495384111 9784817192141
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
期末試験(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテスト(10%)を基準とする。 パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。使用する際は事前に連絡をする。 成績評価の基準: 利用部門での情報リーダーに必要な、情報系システムの企画・開発に関する知識がある。			

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション(授業の概要・受講上の諸注意)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料を読んで、重要なポイントを把握しておく(2h)
	事後学習 (内容・時間)	ミニツツペーパーにて課題を提出(2h)
第2回	経営情報システムの概要(経営情報システムの構成、体系について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第3回	経営情報とは(経営学の視点からの経営情報を考える①経営と情報の関り)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第4回	経営情報とは(経営学の視点からの経営情報を考える②経営と情報の関り)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第5回	製造業情報システム(家電メーカ等を事例にして具体的に学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第6回	流通業情報システム(流通業における情報システムの構成について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第7回	流通業情報システム(販売管理、在庫管理、受発注、物流・配送、売れ筋分析等について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第8回	流通業情報システム(コンビニエンスストア等を事例にして具体的に学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)

第9回	金融業情報システム(金融業情報システムの発展について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第10回	データ流通システムを考える(データ流通、活用の動向)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第11回	データ流通システムを考える(データ流通ビジネスの課題と展望)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第12回	金融業情報システムを考える(銀行等を事例にして具体的に学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第13回	ワークフロー管理システム(企業内でのグループ業務を支えるシステムについて学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第14回	テレワーク(企業内での遠隔業務を支えるシステムについて学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第15回	TCO(情報システムにかかる費用を把握し、削減対策について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト&資料の指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツッペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第16回 (定期試験)	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング (Numbering)		1AMN-6490-12C		1EDN-6490-12E				
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
マーケティング論		219～	1年生・前期		2単位	経営 必	NW 選	秋吉 浩志
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり				
履修の前提条件 Course Prerequisites		経営やマーケティングに興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。本学の経営情報学を学ぶための基礎的な1分野としてとても大事な科目である。						
授業概要 Course Outline								
本学の建学の精神をふまえつつ、カリキュラムポリシーに基づき、マーケティングの基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。それに合わせて、テキストを使用、適宜プリントも配布するが、その回限定のプリントなので、再配布することはない。よって、必ず出席すること。また、最新のマーケティング＆消費者行動に関するテキストを紹介するので、必ず読むことをすすめる。この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)選択科目である。								
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)								
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						○
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						○
		数量的スキル Mathematics						○
		情報リテラシー Information Literacy						○
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						○
		問題解決力 Problem Solving						○
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy						
		自己管理力 Self-management						○
		チームワーク Teamwork						○
		リーダーシップ Leadership						
		倫理観 Ethical Sense						○
		市民としての社会的責任 Social Responsibility						○
		生涯学習力 Lifelong Learning						○
到達目標 (Objectives)								
マーケティング論の基礎的な講義である。後期または2年次以降の経営情報学関連科目受講に向けての基礎科目であるので、この授業でマーケティングの基礎理論を学んで、2年次以降のとくにマーケティング及び流通関連科目、およびビジネス関連科目を理解する力を養うことが目標である。								

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

基本的に研究室(2号館5階555研究室)にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール: akiyoshi@gkii.ac.jp にメール連絡をしておくことを薦める。(遠隔授業の場合はGoogle クラスルームを活用して連絡を随時行う)

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士(リテールマーケティング)受験希望者は、必ず履修することを薦める。

学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール(akiyoshi@gkii.ac.jp)で提出してください。

また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogle クラスルームを活用する

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
図解&事例で学ぶ マーケティングの教科書	シェルパ(著), 酒井 光雄(監修)	マイナビ	ISBN978-4839954406

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
マーケティング基礎読本 増補改訂版 図解マーケティング大全	日経デジタルマーケティング 安部徹也他	日経BP社 洋泉社MOOK	ISBN978-4-8222-3559-8 ISBN978-8003-1479-6

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

期末試験もしくは期末レポート(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテスト(10%)を基準とする。

パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	マーケティングとは何か&ガイダンス(社会のなかでのマーケティングの役割について)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。特にマーケティングの基礎知識解説を読んでおくように。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第2回	アメリカと日本のマーケティングの歴史と定義の変遷について	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第3回	マーケティングミックス(マーケティングの4Pとターゲット層を考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第4回	製品戦略①(メーカーの製品づくりと製品コンセプトを考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第5回	製品戦略②(コモディティ化とメーカーの製品づくり、製品コンセプトを考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第6回	価格戦略①(価格決定について損益分岐点法など価格決定のプロセスについて)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第7回	価格戦略②(現代の価格決定法を考える: サブスクリプションなど新たな動きについて)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第8回	流通(チャネル)戦略①(商業の発展と流通の役割)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)

第9回	流通(チャネル)戦略②(流通システム、流通チャネル、取引数削減の原理など、流通の問題を考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第10回	プロモーション戦略①(広義のプロモーション戦略を考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第11回	プロモーション戦略②(広告、イベントなど狭義のプロモーションについて考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第12回	サービスマーケティング(サービスとはなにか、サービスの諸特徴について)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第13回	電子商取引とe-マーケティング(電子商取引の劇的な発展に伴う問題点を考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第14回	IT&ICTとマーケティング(ITやIOTの発展によるマーケティング情報システムの諸問題を考える)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	講義時に与えられた課題をミニツツペーパーに書いて提出をしてもらう。(2h)
第15回	現代におけるマーケティング概念の劇的な変化と進展について&まとめ	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの指定したページを事前に読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	最後にマーケティング論のまとめレポートを書いてもらいます。(2h)
第16回 (定期試験)	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング (Numbering)											
1EMN-5670-12E		1EDN-5670-12E									
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor		実務 経験 Busi. Exp.		
消費者行動論		共通	1年生・後期		2単位	選択	秋吉 浩志				
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり							
履修の前提条件 Course Prerequisites		経営やマーケティング、消費者行動、ブランド論に興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。経営に関する1分野としてとても大切な科目である。									
授業概要 Course Outline											
本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づき、消費者行動の基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。また、講義ではオリジナルプリントを使用するが、プリントの内容について授業中質問をするので、質問に答えられるよう集中しておくこと。この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)選択科目である。											
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)											
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture								○	
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature									
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening								○	
		数量的スキル Mathematics								○	
		情報リテラシー Information Literacy								○	
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking								○	
		問題解決力 Problem Solving								○	
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy									
		自己管理能力 Self-management								○	
		チームワーク Teamwork									
		リーダーシップ Leadership								○	
		倫理観 Ethical Sense								○	
		市民としての社会的責任 Social Responsibility								○	
		生涯学習力 Lifelong Learning								○	
到達目標 (Objectives)											
景気の動向、経済政策、企業経営、文化・ライフスタイル、ファッション、さらには国際化 & グローバル化にいたるまでさまざまな動向を探り、世の中の消費者行動を分析する力を養う。小売店のバイヤー、Webビジネス関係企業、マーケティング関係の企業、マスコミ関係の就職等を望んでいる学生は履修を勧める。											

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

- ①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
- ②動画、プリント以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
- ③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
- ④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール; akiyoshi@g.kiis.ac.jp にメール連絡をしておくことを薦める。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士(リテールマーケティング)受験希望者は、必ず履修することを薦める。
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定した期日までに秋吉までメール(akiyoshi@g.kiis.ac.jp)で提出してください。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する また、マーケティング論で使ったテキストの用意も薦める。			

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
消費者行動論 消費者・コミュニケーション戦略	青木幸弘他 田中洋他	有斐閣アルマ 有斐閣アルマ	978-4641124639 978-4641122741

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

期末試験もしくは期末レポート(60%)、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。(30%)、授業態度、ミニテストなど(10%)を基準とする。
パソコン(タブレット型も含む)、携帯(スマートフォン)その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格(0点)にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	消費者行動論とはなにか&ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第2回	消費者行動とマーケティング:身近な個人個人の行動を考えよう	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第3回	消費社会とはなにか①:消費社会の誕生と発展について考えよう	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第4回	消費社会とはなにか②:日本での消費社会の発展を歴史を追って考えよう	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第5回	消費者行動論の基礎理論①:消費者行動を把握するための4つの理論について考えよう	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第6回	消費者行動論の基礎理論②BMEモデル、刺激反応モデル、S-O-R理論について考えよう	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第7回	消費者行動論の基礎理論③脳科学的分析方法など最新の消費者行動理論を考える	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第8回	ライフコース、ライフスタイル、ライフサイクルの3類型について考える	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニツツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)

第9回	国際的消費者行動論①「国際的消費者行動と文化について」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第10回	国際的消費者行動論②「現地適応化か、国際標準化か」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第11回	東アジアの文化と消費者行動論①「日本・韓国・中国の基礎文化比較と消費者行動」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第12回	消費者行動とブランド形成について①「ブランドとはなにか」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第13回	消費者行動とブランド形成について②「ブランド形成に必要なものはなにか」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第14回	消費者行動とインターネットにおける相互性について「ネット上の消費者行動」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題をミニッツペーパーに書いて提出してもらい、提出先は指示をする。(2h)
第15回	消費者行動とライフ設計、そして「これからの消費者行動分析について」	
	事前学習 (内容・時間)	テキストもしくは資料の指定したページを読んでおくこと。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	課題と科目アンケートをミニッツペーパーに書いて提出、提出先は指示をする。(2h)
第16回 (定期試験)	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング (Numbering)		1EMN-6470-22E		1EDN-6470-22E				
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
マーケティング・リサーチ		219～	2年生・前期		2単位	選択	坂本 徹	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		なし				
履修の前提条件 Course Prerequisites		コンピュータを大学のネットワークに接続できる状態にしておいて下さい。パスワードの有効期限は6か月ですから、有効期限のチェックや更新、再発行の手続きなど意外に時間がかかります。						
授業概要 Course Outline								
マーケティングは、顧客の集まりである市場の創設、潜在的な顧客の取り込み、人々の関心を自社製品に振り向かせる試み等にかかわる企業活動である。そのためにはどんな製品が求められているのか、納得できる価格帯は？有効な販売方法は？どのような流通経路でお客様に商品をお届けすれば良いのかといった事柄についての調査研究(リサーチ)が必要となる。この調査研究には①分析方法、②統計、③コンピューターに関する知識と技術の3つが同時に必要です。この講義ではこの3点について勉強して行きましょう。実際のリサーチにはこれに加えて調査票の設計と作成、調査の実施と集計が必要ですが、ディプロマポリシーに基づき、この授業ではマーケティングリサーチについての基礎レベルについて説明します。								
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)								
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						○
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						○ ○ ○ ○ ○
		数量的スキル Mathematics						
		情報リテラシー Information Literacy						
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						
		問題解決力 Problem Solving						
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy						○ ○ ○ ○ ○ ○
		自己管理能力 Self-management						
		チームワーク Teamwork						
		リーダーシップ Leadership						
		倫理観 Ethical Sense						
		市民としての社会的責任 Social Responsibility						
		生涯学習力 Lifelong Learning						○
到達目標 (Objectives)								
授業ではコンピュータの操作を通じて、データベースへのアクセス、データの取り込み、データの編集と分析を行います。これまでに修得したコンピュータの知識・技術を総動員して、又は思い出しながら自らの経験として積み上げて行くこと。								

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

授業ではコンピュータの操作を通じて、データベースへのアクセス、データの取り込み、データの編集と分析を行います。これまでに修得したコンピュータの知識・技術を総動員して、又は思い出しながら自らの経験として積み上げて行くこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

授業中に生じた疑問点・意見は、できるだけその場で採り上げて行きます。その他については月曜の3・4時間目(12:50～16:00)をオフィスアワーとしていますので、この時間帯は事前連絡無しでお待ちしています。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation:ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

統計検定、マイクロソフトオフィス検定、販売士などの外部試験を受験した者は成績評価の対象とします。ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
マーケティング・リサーチ — マーケティング、コンピューター、リサーチ —	坂本 徹	東筑印刷	私家版 授業中に配布

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
マーケティング・リサーチの実際	近藤光雄・小田宜夫	日経文庫	ISBN978-4-532-11009-3

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

評価 = 中間レポート + 定期試験評価
4 : 6

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	マーケティング・リサーチとは何か	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの目次に目を通して、授業の進行順序を大まかにつかんでおいて下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	フィリップ・コトラー、ピーター・ドラッカー、市場需要の創造・開拓・拡大について自身の考えをまとめておくこと。(2時間)
第2回	J.M.A. A.M.A.の定義	
	事前学習 (内容・時間)	テキストp4、p5を読んで、マーケティングの対象範囲について予見して下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	顧客満足について自身の考えをまとめておくこと。(2時間)
第3回	企業のマーケティング1	
	事前学習 (内容・時間)	J.M.A, A.M.A.の定義と企業のマーケティングの相違について学習しておいて下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	利益＝総収入－総費用を「有価証券報告書」で確認すること。(2時間)
第4回	企業のマーケティング2	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp8～13を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストp9図2-1中のどれか1場面を選んで自身の説明を試みて下さい。(2時間)
第5回	コンピューターについて	
	事前学習 (内容・時間)	ENIAC、メインフレーム、PC、インターネットの用語について事前準備をして下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	コンピューターの発生から現状までの歴史について自身の理解を確認して下さい。(2時間)
第6回	kiis networkの概要	
	事前学習 (内容・時間)	1年次必修「コンピュータ・リテラシー」の内容を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	「ネットワークの設定」、「インターネットの設定」、「kiisnwの設定」を再確認してください。(2時間)
第7回	表計算ソフトウェアの概要	
	事前学習 (内容・時間)	1年次必修「情報リテラシー・演習」の該当箇所を復習しておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	表計算・関数ウィザード、グラフウィザード、データベースの操作について練習・確認をしておいて下さい。(2時間)
第8回	セカンダリーデータ(2次資料)とその利用	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp20～30を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	任意のデータベースにアクセスしてみる。(2時間)

第9回	日本の5大センサス	
	事前学習 (内容・時間)	日本の5大センサスへアクセスして、各ホームページへのハイパーリンクを試すこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	国勢調査のHPから出発してテキストp23表4-1のデータを検索して下さい。(2時間)
第10回	国勢調査とマーケティング・リサーチ	
	事前学習 (内容・時間)	2020年「国勢調査」について、自身の経験を確認しておいて下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストp23表4-1を利用してマーケティング・リサーチに応用できる事例を考えて下さい。(2時間)
第11回	その他の重要な2次資料	
	事前学習 (内容・時間)	「家計調査年報」にアクセスして「世帯」、「品目別」、「用途別」の用語について調べておいて下さい。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストp27図4-6を利用し自然動態、社会動態を表す2次資料にアクセスして、太宰府市のデータをとってみましょう。(2時間)
第12回	現状分析例(家計調査年報を利用した時系列分析)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp37～45を読んでおいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	チーズの年間消費額は観察期間中、何%伸びたか、レポートしてもらいます。(2時間)
第13回	現状分析例(家計調査年報を利用した所得階層別分析)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp46～53を読んでおいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	チーズ年間消費額の伸びが、年間収入階級別にどうであるかレポートしてもらいます。(2時間)
第14回	現状分析例(家計調査年報を利用した世帯人員数と年齢別分析)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp54～57を読んでおいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	チーズ年間消費額の伸びが、家族の人数や世帯主の年齢別にどうであるかレポートしてもらいます。(2時間)
第15回	現状分析例(家計調査年報を利用した都道府県別分析)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストpp58～62を読んでおいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	チーズ年間消費額の伸びが、地域別にどうであるかレポートしてもらいます。(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)		1AMN-5400-22E		1EDN-5400-22E				
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
経営分析		219～	2年生・前期		2単位	選択	山下 壽文	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり				
履修の前提条件 Course Prerequisites		簿記や会計学の基本的な知識を修得していることが望ましいが、企業の業績や成長性の分析に興味を有することが必要である。						
授業概要 (Course Outline)								
企業が公表する財務諸表は企業情報の宝庫である。財務諸表等から得られる情報を利用した分析理論と手法を学習し、企業の経営成績・財政状態・キャッシュ・フローの状況を判断できる能力を養う。								
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)								
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding		多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						○
		人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						
汎用的技能の観点 Generic Skills		コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						○
		数量的スキル Mathematics						
		情報リテラシー Information Literacy						
		論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						
		問題解決力 Problem Solving						
態度・志向性の観点 Personal Qualities		建学の精神 University Founding Philosophy						○
		自己管理力 Self-management						
		チームワーク Teamwork						
		リーダーシップ Leadership						
		倫理観 Ethical Sense						
		市民としての社会的責任 Social Responsibility						
		生涯学習力 Lifelong Learning						○
到達目標 (Objectives)								
講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の経営分析について知識を修得することを目標とする。そのため、企業が作成した貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書を使用して、様々な分析(診断)を行う。この過程で、収益性・安全性・成長性等の各種分析手法を身につける。さらに、分析にもとづいて企業経営の問題点を指摘し、これを解決するための提案力を養う。								

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)

講義では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けている。そこで、当該時間において、双方向で課題に対する見解を昇華させて行きたい。レポート提出に際しては、その内容に応じて報告を課すこともある。

教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について

学習の確認: ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に適宜指示する。

教科書 (Textbooks)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経営分析～テキスト&問題	山下壽文	冊子(600円)	

参考文献 (Reference Books)

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経営分析を学ぶ	山下壽文他	税務経理協会	978-4-419-05478-6

成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)

定期試験60%、課題提出40%で評価。

tenn		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション(講義の内容・進め方)、会社数字の読み方	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第1回を読んで会社数字の読み方を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第2回	貸借対照表のしくみ	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第2回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第3回	損益計算書のしくみ	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第3回を読んで損益計算書のしくみを整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第4回	経営分析の手法	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第4回を読んで経営分析の手法を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第5回	安全性分析(1)～短期支払能力	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第5回を読んで短期の安全性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第6回	安全性分析(2)～長期支払能力	
		テキスト第6回を読んで長期の安全性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第7回	収益性分析～売上高利益率、資本利益率	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第7回を読んで収益性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第8回	資金運用分析	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第8回を読んで資金運用分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)

第9回	株価分析	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第9回を読んで株価分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第10回	生産性分析	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第10回を読んで生産性分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第11回	損益分岐点分析	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第11回を読んで損益分岐点分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第12回	キャッシュフロー計算書(1)～CF計算書の作成	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第12回を読んでCF計算書の作成方法を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容の復習。(2時間)
第13回	キャッシュフロー計算書(2)～CF分析	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第13回を読んでキャッシュ・フロー分析を整理しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストおよび講義内容について復習。(2時間)
第14回	総合演習(1)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第14回の演習問題を予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストの演習問題について復習。(2時間)
第15回	総合演習(2)	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第15回の演習問題を予習しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	テキストをもとに経営分析の要点について復習。(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)						
1EDN-6372-22E						
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.
ビジネスプログラミング	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	ディンダ プラマンタ	
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		プログラミング入門またはプログラミング初歩IIを履修していること。				
授業概要 Course Outline						
ディプロマポリシーに基づき、この授業では、Excelを高度に利用するためにVBA(Visual Basic for Application)を使用したマクロのプログラミングを学習する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					
到達目標 (Objectives)						
Excelのマクロの記録、VBAによるExcelデータに対するプログラミングの学習によってExcelの利用方法が広がり、今後の学習や仕事で広範囲に活用することができるようになる。						

能動的学習【アクティブラーニング】の内容（Active Learning）			
毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。			
教員との連絡方法・オフィスアワー（Office Hour）			
連絡、問い合わせ、相談などは551研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。			
その他（Others）・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation: ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について			
毎回の講義時間後、ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」にオンライン自己評価を記入し、提出して下さい。□			
教科書（Textbooks）			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
学生のためのExcel VBA 第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7
参考文献（Reference Books）			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示する。			
成績評価方法（Grading Criteria / Method of Evaluation）			
毎回のプログラミング課題50%、定期試験50%			

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、自動記録によるマクロの作成と実行	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までにPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第2回	簡単なマクロの作成	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第3回	変数の使い方と計算	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第4回	セルの選択とコピー	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第5回	条件による分岐	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第6回	複数の条件による分岐 (If...Then...Else...End Ifステートメント)	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第7回	複数の条件による分岐 (Select Caseステートメント)	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第8回	処理の繰り返し (For...Nextステートメント)	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)

第9回	二重の繰り返し	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第10回	処理の繰り返し(Do While...Loop)	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第11回	イベントプロシージャとSubプロシージャ	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第12回	一次元配列	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第13回	二次元配列	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第14回	ユーザーフォームの作成	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で行った例題を自力で解いてください。(2時間)
第15回	総合演習と復習	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。 (2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をする。 (提出するのは不必要) (2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験	

ナンバリング (Numbering)							
1BMN-5370-U2ET							
科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor	実務 経験 Busi. Exp.	
経営情報学Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	223～	2・3年生・後期	2単位	選択	岸川 洋	○	
経営情報論Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	221・222						
	219・220 経営情報学科						
オンライン授業 online class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり				
履修の前提条件 Course Prerequisites		「経営学総論Ⅰ」「情報学入門」を履修していること。(履修規程第5条3項に基づく) 「情報テクノロジー(情報処理入門)」を履修し、ストラテジー分野について理解していることが望ましい。 「経営情報論Ⅰ」を履修していることが望ましい。					
授業概要 Course Outline							
電気通信事業会社で、社内システム開発部門やシステム営業部門(公共・金融)の実務経験がある教員が、経営環境の変化や情報技術の進展により、経営情報システムがどのように発展してきたかを解説することにより、各経営情報システムの利点・欠点・留意点について学修する。 ITパスポート試験(ストラテジー分野)から出題した小テストを毎回実施する。 連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。 毎回の課題やレポートはGoogleクラスルームに提出する。							
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)							
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						○
	数量的スキル Mathematics						
	情報リテラシー Information Literacy						
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						
	問題解決力 Problem Solving						
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy						○
	自己管理能力 Self-management						
	チームワーク Teamwork						
	リーダーシップ Leadership						
	倫理観 Ethical Sense						
	市民としての社会的責任 Social Responsibility						
	生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)							
「学修成果(Student Learning Outcomes) 3項 社会で求められる知識・技能を修得し、もろもろの課題に主体的に取り組むことができる創造的な思考力や実践力を修得している。」に基づき、 経営情報システムの発展過程を理解できる、各経営情報システムについてイメージ図を描いて考え方を説明できる、ネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。							

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)			
毎回の授業で、授業内容をまとめた課題の提出があります。資料やネット検索等を活用して補足してください。意見、感想なども記入してください。			
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)			
連絡方法:メールで連絡してください。又は事務局へ伝えてください。 オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。			
その他 (Others)・外部試験との関連(Exams of other organizations)・学習の確認(Learning review and evaluation:ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出)について			
外部試験:ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。 学修の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に該当事項を記入して、課題と一緒に提出すること。			
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報・技術経営シリーズ10 ビジネス情報システム	薦田憲久、水野浩孝、 赤津雅晴	コロナ社	9784339026306
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経営情報論	遠山暁、村田潔、 岸真理子	有斐閣アルマ	9784641220577
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
成績評価の方法:平常点(60%)、定期試験(40%)。平常点は授業での参加状況、毎回の課題提出状況、小テスト、レポートで総合的に判断する。 成績評価の基準:利用部門での情報リーダーに必要な、経営情報システムに関する知識がある。 (毎回の授業のキーワードについて正しく説明できる。)			

授業計画 (Course Schedule)		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション(授業の概要・受講上の諸注意)	
	事前学習 (内容・時間)	「経営情報システム」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	授業を受講するためのネットワーク環境や資料を整備する。(2時間)
第2回	経営情報システムの発展過程(経営情報システムの変遷について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第3回	MIS(経営情報システムの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第4回	EDPSとDSS(勘定系システムと情報系システムの違いについて学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第5回	SIS(戦略的情報システムの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第6回	BPR(ビジネスプロセスリエンジニアリングの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第7回	ERP(統合業務パッケージの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第8回	SCM(サプライチェーンマネジメントの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)

第9回	CRM(顧客関係管理の考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第10回	POS(販売時点管理の考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第11回	EC(電子商取引の利点や課題について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第12回	EUC(エンドユーザコンピューティングの考え方について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第13回	クラウド(クラウドコンピューティングの利点や留意点について学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第14回	セキュリティとリスク管理(情報システムの構築、運用の際に認識すべきことについて学習する)	
	事前学習 (内容・時間)	テキストの次回授業範囲を読み、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第15回	まとめ	
	事前学習 (内容・時間)	全体を振り返り、疑問点について整理する。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	キーワードについて説明できるようにする。(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験等	

別表Ⅰ－Ⅰ 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修科目１６単位を含めて４０単位以上修得

大分類	中分類	小分類	１年生		２年生		３年生		４年生	
			授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位
基礎総合科目	総合教養	人文学	* 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			* 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			日本事情 ※ (前)	2						
		科学	基礎数学 (前)	2						
		健康スポーツ	ウェルネス (前)	1	スポーツ理論 (前)	2				
			スポーツ (後)	1	ウェルネス理論 (後)	2				
	言語学	英語	* 総合英語 (前)	2	英会話Advanced I (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced II (後)	2				
			英会話Basic I (前)	2						
			英会話Basic II (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	日本語Ⅰ ※ (前)	2	日本語Ⅲ ※ (前)	2				
			日本語Ⅱ ※ (後)	2	日本語Ⅳ ※ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	* 情報リテラシー演習Ⅰ (前)	2						
			情報リテラシー演習Ⅱ (後)	2						
			* コミュニケーションと自己発見Ⅰ (前)	2						
			* コミュニケーションと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			* キャリアデザイン入門Ⅰ (前)	2	キャリアデザインⅠ (前)	2		
					* キャリアデザイン入門Ⅱ (後)	2	キャリアデザインⅡ (後)	2		
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義 (語学)	１～４年生 １～４単位						
			特別実習・講義 (実践力養成)	１～４年生 １～４単位						
			特別実習・講義 (キャリア)	１～４年生 １～４単位						

(注１) * 印のついた科目は 必修科目

(注２) ※ 印のついた科目は 外国人留学生のみ選択可

(注３) 中分類「総合教養」から 必修科目４単位を含み１２単位以上修得

(注４) 中分類「語学」から 必修科目２単位を含み６単位以上修得

(注５) 中分類「実践力養成・キャリア開発」から 必修科目１０単位を含み１２単位以上修得

(注６) (前)は 前期開講科目、(後)は 後期開講科目

別表Ⅰ－Ⅱ 専門教育科目の開講時期と単位数

※必修科目26単位を含めて84単位以上修得

(このうち24単位を上限として 他学科科目の履修を認める)

大分類	中分類	小分類	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生	
			授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	* 経営学総論Ⅰ (前)	2	マネジメント科学 (前)	2				
			* 会計学入門 (前)	2	ビジネス実務 (前)	2				
			* 簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	* 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	* 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	* 情報セキュリティ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ネットワーク入門 (後)	2			マルチメディア論 (前)	2		
			コンピュータ実務演習Ⅰ (前)	2						
			コンピュータ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	* マーケティング論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ベンチャービジネス入門 (後)	2	コマース論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			会計学 (後)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
		情報			経営組織論 (後)	2				
			計算機システム論 (後)	2			プログラミング論 (前)	2		
					情報テクノロジー (前)	2	中級プログラミング (後)	2		
					アルゴリズムとデータ構造 (前)	2	コンピュータグラフィックス論 (前)	2		
					データベース論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ゲームプログラミング (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					プログラミング入門 (前)	2				
					初級プログラミング (後)	2				
					マネジメントゲーム (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					コンピュータ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	マーケティング・リサーチ (前)	2	ビジネスフロンティア (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	デジタルビジネス論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
		国際ビジネス			コマース論Ⅱ (後)	2				
					ベンチャー企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		ゼミ	プレゼミⅠ (前)	2	基礎ゼミ (通年)	4	専門ゼミⅠ (通年)	4	専門ゼミⅡ (通年)	4
			プレゼミⅡ (後)	2	* 経営学基礎演習 (通年)	4	* 経営学専門演習Ⅰ (通年)	4	* 経営学専門演習Ⅱ (通年)	4
			特別実習・講義 (経営)	1～4年生	1～4単位					
			特別実習・講義 (会計)	1～4年生	1～4単位					
			特別実習・講義 (情報)	1～4年生	1～4単位					

(注1) * 印のついた科目は 必修科目

(注2) 中分類「専門基礎」から 必修科目12単位を含み20単位以上修得

(注3) 中分類「専門発展」から 必修科目2単位を含み14単位以上修得

(注4) 中分類「専門応用」から 24単位以上修得

(注5) (前)は 前期開講科目、(後)は 後期開講科目

別表Ⅱ-I 基礎総合科目の開講時期と単位数 ※必修科目16単位を含めて40単位以上修得

大分類	中分類	小分類	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生	
			授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位
基礎総合科目	総合教養	人文学	* 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			* 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			日本事情 ※ (前)	2						
		科学	基礎数学 (前)	2						
		健康スポーツ	ウェルネス (前)	1	スポーツ理論 (前)	2				
			スポーツ (後)	1	ウェルネス理論 (後)	2				
	言語学	英語	* 総合英語 (前)	2	英会話Advanced I (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced II (後)	2				
			英会話Basic I (前)	2						
			英会話Basic II (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	日本語Ⅰ ※ (前)	2	日本語Ⅲ ※ (前)	2				
			日本語Ⅱ ※ (後)	2	日本語Ⅳ ※ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	* 情報リテラシー演習Ⅰ (前)	2						
			情報リテラシー演習Ⅱ (後)	2						
			* コミュニケーションと自己発見Ⅰ (前)	2						
			* コミュニケーションと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			* キャリアデザイン入門Ⅰ (前)	2	キャリアデザインⅠ (前)	2		
					* キャリアデザイン入門Ⅱ (後)	2	キャリアデザインⅡ (後)	2		
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義 (語学)	1～4年生 1～4単位						
			特別実習・講義 (実践力養成)	1～4年生 1～4単位						
			特別実習・講義 (キャリア)	1～4年生 1～4単位						

(注1) * 印のついた科目は 必修科目

(注2) ※ 印のついた科目は 外国人留学生のみ選択可

(注3) 中分類「総合教養」から 必修科目4単位を含み12単位以上修得

(注4) 中分類「語学」から 必修科目2単位を含み6単位以上修得

(注5) 中分類「実践力養成・キャリア開発」から 必修科目10単位を含み12単位以上修得

(注6) (前)は 前期開講科目、(後)は 後期開講科目

別表Ⅱ-Ⅱ 専門教育科目の開講時期と単位数

※必修科目26単位を含めて84単位以上修得

(このうち24単位を上限として 他学科科目の履修を認める)

大分類	中分類	小分類	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生	
			授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位	授業科目の名称	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	* 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	* 情報セキュリティ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ネットワーク入門 (後)	2			マルチメディア論 (前)	2		
			コンピュータ実務演習Ⅰ (前)	2						
			コンピュータ実務演習Ⅱ (後)	2						
		経営・会計	* 経営学総論Ⅰ (前)	2	マネジメント科学 (前)	2				
			* 会計学入門 (前)	2	ビジネス実務 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	* 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機システム論 (後)	2	プログラミング実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			* プログラミング初歩Ⅰ (前)	2	プログラミング実践Ⅱ (後)	4	モバイルネットワーク (前)	2		
			プログラミング初歩Ⅱ (後)	2	ゲームプログラミング (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					* 情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					アルゴリズムとデータ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					データベース論 (前)	2				
					オペレーティングシステム論 (後)	2				
	専門応用	ネットワーク	Webデザイン (後)	2	スケーリング技術 (前)	2	WebプログラミングⅡ (前)	2		
					ルーティング技術 (後)	2	WebプログラミングⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ネットワークアプリケーション構築 (通年)	4		
					デジタルビジネス論 (後)	2	インターネット技術 (前)	2		
					Webシステム (前)	2				
					WebプログラミングⅠ (後)	2				
		データサイエンス	会計学 (後)	2	マーケティング・リサーチ (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			マーケティング論 (前)	2	経営分析 (前)	2	データ解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	データモデリング (後)	2		
					ビジネスプログラミング (前)	2	統計プログラミング (後)	2		
	演習	ゼミ	プレゼミⅠ (前)	2	* 基礎ゼミ (通年)	4	* 専門ゼミⅠ (通年)	4	* 専門ゼミⅡ (通年)	4
			プレゼミⅡ (後)	2	* 情報学基礎演習 (通年)	4	* 情報学専門演習Ⅰ (通年)	4	* 情報学専門演習Ⅱ (通年)	4
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義 (経営)	1～4年生 1～4単位						
			特別実習・講義 (会計)	1～4年生 1～4単位						
			特別実習・講義 (情報)	1～4年生 1～4単位						

(注1) *印のついた科目は 必修科目

(注2) 中分類「専門基礎」から 必修科目10単位を含み20単位以上修得

(注3) 中分類「専門発展」から 必修科目4単位を含み14単位以上修得

(注4) 中分類「専門応用」から 24単位以上修得

(注5) (前)は 前期開講科目、(後)は 後期開講科目

経営情報学科 2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目 ※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）								
総合教養			語学			実践力養成・キャリア開発		
必修4単位を含み12単位以上			必修2単位を含み6単位以上			必修10単位を含み12単位以上		
＜人文科学＞			＜英語＞			＜実践スキル＞		
科目名	授業を行う 年次	番号	科目名	授業を行う年 次	番号	科目名	授業を行う年 次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT	◎情報リテラシー演習	1前	1GCB-5781-12CT
宗教学	1後	1GGN-5660-12E	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E	◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 BasicⅠ	1前	1GLN-5170-12ES	◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 BasicⅡ	1後	1GLN-5180-12ES	大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E	英会話AdvancedⅠ	2前	1GLN-5150-22ES	文章表現	1後	1GCN-6410-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話AdvancedⅡ	2後	1GLN-5160-22ES			
＜社会科学＞			＜中国語＞			＜キャリア開発＞		
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
社会学	1後	1GGN-5650-12E	＜韓国語＞			キャリアデザインⅠ	3前	1GCN-5290-32E
政治学	1前	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	キャリアデザインⅡ	3後	1GCN-5300-32E
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES			
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	＜日本語＞					
＜自然科学＞			※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E			
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E			
＜体育・科学＞			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E			
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E			
スポーツ	1後	1GGN-5880-11ET						
スポーツ理論	2前	1GGN-6700-22E						
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E						

特別講義		
＜特別講義基礎＞		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門基礎			専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）			専門応用		
必修8単位を含み20単位以上			必修4単位を含み14単位以上			24単位以上		
＜経営・会計＞			＜経営・会計＞			＜会計＞		
科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C	◎マーケティング論	1前	1AMN-6490-12C	中級簿記演習Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	ベンチャービジネス入門	1後	1AMN-6440-12E	中級簿記演習Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
◎簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C	◎経営学総論Ⅱ	1後	1AMB-5332-12C	原価計算論Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	会計学	1後	1AMN-5200-12E	原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
マネジメント科学	2前	1BMN-6510-22ET	企業金融	2前	1AMN-5260-22E	財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
ビジネス実務	2前	1BMB-6302-22E	コマー্স論Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E	財務管理	2後	1EAN-5630-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E	日本経営史	2前	1AMB-6192-22E	会社法	2前	1EAN-5230-22E
経営情報論Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E	経営分析	2前	1AMN-5400-22E	監査論	2後	1EAN-5240-22E
経営情報論Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET	統計学	2後	1AMB-6092-22E	コンピュータ会計	2前	1EAN-5600-22E
＜情報＞			経営組織論	2後	1AMN-5390-22E	税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ET	組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E	税法	3・4後	1EAN-5900-Z2E
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E	知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET	＜経営＞		
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET	経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
ビジネスソフトウェア活用演習	1後	1BIB-6310-14E	経営思想	3・4前	1AMA-5350-Z2E	消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	＜情報＞			マーケティング・リサーチ	2前	1EMN-6470-22E
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT	計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	Webサービス論	2後	1EMN-5070-22E
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET	情報テクノロジー	1・2前	1AIN-5740-X2ET	SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
マルチメディア論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET	アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET	コマー্স論Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
			データベース論	2前	1AIN-6060-22ET	ベンチャー企業論	2後	1EMN-6430-U2E
			情報テクノロジー演習Ⅰ	2前	1AIN-5750-24E	中小企業論	2前	1EMN-6040-U2E
			情報テクノロジー演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E	ビジネスプランニング	3・4後	1EMN-6320-Z2E
			プログラミング入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET	計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z2E
			初級プログラミング実習	2・3後	1AIN-6392-U2ET	＜国際ビジネス＞		
			マネジメントゲーム	2・3後	1AIN-6522-U2ES	国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
			プログラミング論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES	国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
			中級プログラミング実習	3・4後	1AIN-6414-Z2ES	英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
			コンピュータグラフィックス論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET	英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
			計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET	ビジネス英語Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-Z2E
						ビジネス英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E
						国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E
						国際政治学	3・4前	1EGA-5540-Z2E

演習		
＜プレゼミ＞		
科目名	授業を行う年次	番号
プレゼミⅠ	1前	
プレゼミⅡ	1後	

⇒

＜ゼミナール基礎＞		
科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

⇒

＜ゼミナール専門＞		
科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ゼミⅠ	3通年	
◎経営学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ゼミⅡ	4通年	
◎経営学専門演習Ⅱ	4通年	

特別講義		
＜特別講義専門＞		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科 2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目 ※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）									
総合教養			語学			実践力養成・キャリア開発			
必修4単位を含み12単位以上			必修2単位を含み6単位以上			必修10単位を含み12単位以上			
＜人文科学＞			＜英語＞			＜実践スキル＞			
科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	
◎魂字の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT	◎情報リテラシー演習	1前	1GCB-5780-12CS	
宗教学	1後	1GGN-5660-12E	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E	◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C	
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 BasicⅠ	1前	1GLN-5170-12ES	◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C	
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 BasicⅡ	1後	1GLN-5180-12ES	大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E	
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E	英会話AdvancedⅠ	2前	1GLN-5150-22ES	文章表現	1後	1GCN-6410-12E	
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話AdvancedⅡ	2後	1GLN-5160-22ES				
＜社会科学＞			＜中国語＞			＜キャリア開発＞			
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C	
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES	◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C	
社会学	1後	1GGN-5650-12E	＜韓国語＞			キャリアデザインⅠ	3前	1GCN-5290-32E	
政治学	1前	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES	キャリアデザインⅡ	3後	1GCN-5300-32E	
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES				
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	＜日本語＞						
＜自然科学＞			※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E				
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E				
＜スポーツ科学＞			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E				
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E				
スポーツ	1後	1GGN-5880-11ET							
スポーツ理論	2前	1GGN-6700-22E							
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E							

特別講義

＜特別講義基礎＞		
科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）									
専門基礎			専門発展			専門応用			
必修6単位を含み20単位以上			必修6単位を含み14単位以上			24単位以上			
＜情報＞			＜情報＞			＜ネットワーク＞			
科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ES	計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	WebプログラミングⅠ	1後	1ENN-5050-12E	
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E	◎プログラミング 初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C	スライディング 技術	2前	1ENN-5862-22E	
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	プログラミング 初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E	コーディング 技術	2後	1ENN-5873-22E	
ビジネスソフト活用演習	1後	1BIB-6310-14E	プログラミング 実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E	SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E	
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	プログラミング 実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E	Webサービス論	2後	1ENN-5070-22E	
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-22CT	◎情報システム演習Ⅰ	2前	1AIN-5750-24C	WebプログラミングⅡ	2前	1ENN-5060-22E	
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-22ET	情報システム演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E	WebプログラミングⅠ	2後	1ENN-5082-22E	
システム設計論	3・4前	1BIN-6532-22ET	システムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET	WebプログラミングⅡ	3・4前	1ENN-5093-22E	
＜経営・会計＞			情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E	WebプログラミングⅢ	3・4後	1ENN-5104-22E	
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C	データベース論	2前	1AIN-6060-22ET	ネットワークアプリケーション構築	3・4通年	1ENN-6270-24ES	
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	オペレーティングシステム論	2後	1AIN-5192-22E	インターネット技術	3・4前	1ENN-5884-22E	
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E	計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-22ET	＜データサイエンス＞			
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	ネットワーク	3・4前	1AIN-6550-22ES	会計学	1後	1EDN-5200-12E	
マネジメント科学	2前	1BMN-6510-22ET				マーケティング論	1前	1EDN-6490-12E	
ビジネス実務	2前	1BMB-6302-22E				消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E	
民事法	2前	1BMN-6540-22E				マーケティング・リサーチ	2前	1EDN-6470-22E	
経営情報論Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E				経営分析	2前	1EDN-5400-22E	
経営情報論Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-02ET				統計学	2後	1EDB-6082-22E	
						ビジネスプログラミング	2前	1EDN-6372-22E	
						多変量解析	3・4前	1EDN-6092-22E	
						データ解析	3・4前	1EDN-6052-22E	
						データマニング	3・4後	1EDN-6070-22E	
						統計プログラミング	3・4後	1EDN-6120-22E	
						機械学習	3・4前	1EDN-5251-22E	
						人工知能	3・4後	1EDN-5262-22E	
						計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-22E	

演習

＜プレゼミ＞			＜ゼミナール基礎＞			＜ゼミナール専門＞		
科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号
プレゼミⅠ	1前		◎基礎ゼミ	2通年		◎専門ゼミⅠ	3通年	
プレゼミⅡ	1後		◎情報学基礎演習	2通年		◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
						◎専門ゼミⅡ	4通年	
						◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別講義

＜特別講義専門＞		
科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科 2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目 ※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）		
総合教養		
必修4単位を含み12単位以上		
＜人文科学＞		
科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT
＜社会科学＞		
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E
＜自然科学＞		
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E
＜スポーツ健康科学＞		
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET
スポーツ	1後	1GGN-5880-11ET
スポーツ理論	2前	1GGN-6700-22E
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）		
語学		
必修2単位を含み6単位以上		
＜英語＞		
科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES
＜中国語＞		
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES
＜韓国語＞		
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES
＜日本語＞		
※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発		
必修10単位を含み12単位以上		
＜実践スキル＞		
科目名	授業を行う年次	番号
◎情報リテラシー演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報リテラシー演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E
＜キャリア開発＞		
◎キャリアデザイン入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
キャリアデザインⅠ	3前	1GCN-5290-32E
キャリアデザインⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義		
＜特別実習・講義基礎＞		
科目名	授業を行う 学年	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門基礎			専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）			専門応用		
必修12単位を含み20単位以上			必修2単位を含み14単位以上			24単位以上		
＜経営・会計＞			＜経営・会計＞			＜会計＞		
科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号	科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C	◎マーケティング論	1前	1AMN-6490-12C	中級簿記演習Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C	ベンチャービジネス入門	1後	1AMN-6440-12E	中級簿記演習Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
◎簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C	経営学総論Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E	原価計算論Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E	会計学	1後	1AMN-5200-12E	原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
マネジメント科学	2前	1BMN-6510-22ET	企業金融	2前	1AMN-5260-22E	財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
ビジネス実務	2前	1BMB-6302-22E	マーケティング論Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E	会社法	2前	1EAN-5230-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E	日本経営史	2前	1AMB-6192-22E	監査論	2後	1EAN-5240-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C	経営分析	2前	1AMN-5400-22E	コンピュータ会計	2前	1EAN-5600-22E
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET	統計学	2後	1AMB-6092-22E	税務会計論	3・4前	1EAN-5910-22E
＜情報＞			経営組織論	2後	1AMN-5390-22E	税法	3・4後	1EAN-5900-22E
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT	組織心理学	3・4前	1AMN-5952-22E	＜経営＞		
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E	知的所有権	3・4前	1AMN-5980-22ET	経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
情報ネットワーク入門	1後	1BIN-5770-12ET	労務管理論	3・4前	1AMN-6572-22ET	消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
コンピュータ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E	＜情報＞			マーケティング・リサーチ	2前	1EMN-6470-22E
コンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E	計算機システム論	1後	1AIN-5432-12ES	デジタルビジネス論	2後	1EMN-5070-22E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E	情報テクノロジー	1・2前	1AIN-5740-X2ET	SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
◎情報セキュリティ	3・4前	1BIN-5730-22CT	アルゴリズムとデータ構造	2前	1AIN-5122-22ET	ケース論Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
情報システムの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-22ET	データベース論	2前	1AIN-6060-22ET	ベンチャー企業論	2・3後	1EMN-6430-U2E
マルチメディア論	3・4前	1BIN-6532-22ET	ゲームプログラミング	2前	1AIA-6580-22E	中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
			情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIA-6610-22E	ビジネスプランニング	3・4後	1EMN-6320-22E
			情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E	計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-22E
			プログラミング入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET	＜国際ビジネス＞		
			初級プログラミング	2・3後	1AIA-6590-U2ET	国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
			マネジメントゲーム	2・3後	1AIN-6522-U2ES	国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
			プログラミング論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES	英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
			中級プログラミング	3・4後	1AIA-6600-Z2ES	英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
			コンピュータフィックス論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET	ビジネス英語Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-22E
			計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET	ビジネス英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-22E
			情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIA-6630-22E	国際経済論	3・4前	1EGA-5520-22E
			情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIA-6640-22E			

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
プレゼミⅠ	1前	
プレゼミⅡ	1後	

⇒

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

⇒

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ゼミⅠ	3通年	
◎経営学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ゼミⅡ	4通年	
◎経営学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義		
＜特別実習・講義専門＞		
科目名	授業を行う 年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科 2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目 ※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含む40単位以上）			実践力養成・キャリア開発		
総合教養			必修10単位を含む12単位以上		
必修4単位を含む12単位以上			必修2単位を含む6単位以上		
＜人文科学＞			＜英語＞		
科目名	履修を行う 年次	番号	科目名	履修を行う年 次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C	◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
宗教学	1後	1GGN-5660-12C	英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12C
心理学	1前	1GGN-5850-12E	英会話 Basic I	1前	1GLN-5170-12ES
文学	1前	1GGN-6400-12E	英会話 Basic II	1後	1GLN-5180-12ES
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT	英会話Advanced I	2前	1GLN-5150-22ES
			英会話Advanced II	2後	1GLN-5160-22ES
＜社会科学＞			＜中国語＞		
法学	1前	1GGN-6450-12E	初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET	中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES
社会学	1後	1GGN-5650-12E	＜韓国語＞		
政治学	1後	1GGN-5890-12E	初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
経済学	1前	1GGN-5420-12E	中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E	＜日本語＞		
＜自然科学＞			※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
基礎数学	1前	1GGN-5270-12E	※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
＜ｽﾎｰﾙ健康科学＞			※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
ウェルネス	1前	1GGN-5870-11ET	※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E
スポーツ	1後	1GGN-5880-11ET			
スポーツ理論	2前	1GGN-6700-22E			
ウェルネス理論	2後	1GGN-5140-22E			
＜実習スキル＞			＜キャリア開発＞		
科目名	履修を行う年 次	番号	◎キャリアデザイン入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎情報リテラシー演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C	◎キャリアデザイン入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
情報リテラシー演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET	キャリアデザインⅠ	3前	1GCN-5290-32E
◎コミュニケーションと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C	キャリアデザインⅡ	3後	1GCN-5300-32E
◎コミュニケーションと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C			
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E			
文章表現	1後	1GCN-6410-12E			

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う 年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎			専門発展			専門応用		
必修10単位を含む20単位以上			必修4単位を含む14単位以上			24単位以上		
<情報>			<情報>			<ネットワーク>		
科目名	授業を行う年	番号	科目名	授業を行う年	番号	科目名	授業を行う年	番号
◎情報学入門	1前	1B1N-5690-12CT	計算機システム論	1後	1A1N-5432-12ES	Webデザイン	1後	1E1N-5050-12E
情報数学Ⅰ	1後	1B1B-5710-12E	◎プログラミング 初歩Ⅰ	1前	1A1B-6361-12C	システム技術	2前	1E1N-5862-22E
情報ネットワーク入門	1後	1B1N-5770-12ET	プログラミング 初歩Ⅱ	1後	1A1B-6372-12E	コーディング技術	2後	1E1N-5873-22E
コンピュータ実務演習Ⅰ	1前	1B1B-6550-12E	プログラミング 実践Ⅰ	2前	1A1B-6342-24E	SNS活用と問題解決	2前	1E1N-5010-22E
コンピュータ実務演習Ⅱ	1後	1B1B-6560-12E	プログラミング 実践Ⅱ	2後	1A1N-6353-24E	デジタルビジネス論	2後	1E1N-5070-22E
統計学入門	2前	1B1B-6110-22E	ゲームプログラミング	2前	1A1A-6580-22E	Webシステム	2前	1E1N-5060-22E
情報セキュリティ	3・4前	1B1N-5730-22CT	◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1A1A-6610-22C	WebプログラミングⅠ	2後	1E1N-5082-22E
情報システムの開発と管理	3・4前	1B1N-5702-22ET	情報処理技術演習Ⅱ	2後	1A1A-6620-22E	WebプログラミングⅡ	3・4前	1E1N-5093-22E
ソフトウェア論	3・4前	1B1B-6532-22ET	アプリケーションとデータ構造	2前	1A1N-5122-22ET	WebプログラミングⅢ	3・4後	1E1N-5104-22E
<経営・会計>			情報数学Ⅱ	2前	1A1B-5720-22E	ネットワークアプリケーション構築	3・4通年	1E1N-6270-24ES
◎経営学総論Ⅰ	1前	1B1B-5331-12C	データベース論	2前	1A1A-6060-22ET	インターネット技術	3・4前	1E1N-5884-22E
◎会計学入門	1前	1B1B-5220-12C	オペレーティングシステム論	2後	1A1N-5192-22E	<データサイエンス>		
簿記Ⅰ	1前	1B1B-5831-12E	計測・制御論	3・4後	1A1N-5440-22ET	会計学	1後	1EDN-5200-12E
簿記Ⅱ	1後	1B1B-6462-12E	モバイルネットワーク	3・4前	1A1N-6550-22ES	マーケティング論	1後	1EDN-6490-12E
マネジメント科学	2前	1B1N-6510-22ET	情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1A1A-6630-22E	消費者行動論	1前	1EDN-5670-12E
ビジネス実務	2前	1B1B-6302-22E	情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1A1A-6640-22E	マーケティング・リサーチ	2前	1EDN-6470-22E
民事法	2前	1B1N-6540-22E				経営分析	2前	1EDN-5400-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1B1N-5360-22C				統計学	2後	1EDB-6082-22E
経営情報学Ⅱ	2・3後	1B1N-5370-U2ET				ビジネスプログラミング	2前	1EDN-6372-22E

演習

＜プレゼミ＞

科目名	授業を行う 年次	番号
ブレミⅠ	1前	
ブレミⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ゼミⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ゼミⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

＜特別実習・講義専門＞

科目名	授業を行う 年度	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

KIIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム運営委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの実施に関する規則第8条の規定に基づき、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(組織)

第2条 運営委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長から指名された専任教職員若干名

(委員長)

第3条 委員長は、委員の中から学長が指名する。

(審議事項)

第4条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) KIIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(以下「プログラム」という。)において身に付けることのできる能力、修了要件、開設される授業科目、授業の方法及び内容並びに実施体制に関すること
- (2) プログラムの履修を促す取組に関すること
- (3) プログラムの修了に関すること
- (4) プログラムについての自己点検評価及びその結果の公表に関すること
- (5) その他プログラムの実施に際し必要な事項

(事務)

第5条 運営委員会に関する事務は教務課で処理する。

(改廃)

第6条 この規則の改廃は教授会の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

⑥ 取組概要

＜学生配布用ビラの作成と周知＞

👉 下記ビラをオリエンテーションで学生全員に配布

プログラム名

KIIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム



コンピュータの発達によりデータが豊富に入手できる時代となり、今はデータを活用する（分析し、意思決定を行う）ようになってきています。そのような大量のデータが飛び交う現代において、一昔前の読み書きそろばんのように皆さんの武器・防具となるのがデータサイエンスです。本学では下記条件のデータサイエンス教育科目を修得した場合、KIIS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム修了証（リテラシー・応用基礎）をそれぞれ授与致します。無防備な状態で社会に出て困らないようチャレンジしてみませんか？

【プログラムを修了するメリット】

- ❑ 今、全国のあらゆる企業が求めているデータサイエンス教育を受けた学生であることが証明される！
- ❑ あらゆる分野・業種で活躍できることが証明される！
- ❑ 周りの一歩先を行く職業人になれる！



リテラシーレベル（18 単位）

必修科目	選択科目（3 科目以上修得）
情報リテラシー演習（Ⅱ）	マーケティング論
情報学入門	消費者行動論
基礎数学	マーケティング・リサーチ
情報倫理	経営分析
統計学入門	ビジネスプログラミング（NW）
経営情報学（論）Ⅰ	経営情報学（論）Ⅱ

応用基礎レベル（54 単位）

左記リテラシーレベル修得プラス下記 16 科目必修	
情報数学Ⅰ	情報ネットワーク入門
情報数学Ⅱ（NW）	データベース論
統計学	アルゴリズムとデータ構造
多変量解析（NW）	プログラミング実践Ⅰ（NW）
データ解析（NW）	プログラミング実践Ⅱ（NW）
データモデリング（NW）	機械学習（NW）
統計プログラミング（NW）	人工知能（NW）
計量経済分析	情報セキュリティ

認定に必要な科目

👉 学生掲示板にビラを掲示



👉 オリエンテーション等で学生に向けて説明（周知の徹底）



⑦ その他補足資料

<構成員>

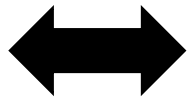
【情報ネットワーク学科】
荒平 高章、中島 直樹
ディンダ・プラマント

データ解析・統計的手法・人工知能・
プログラミングに精通



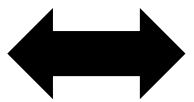
【経営情報学科】
秋吉 浩志

マーケティング関連分野に精通



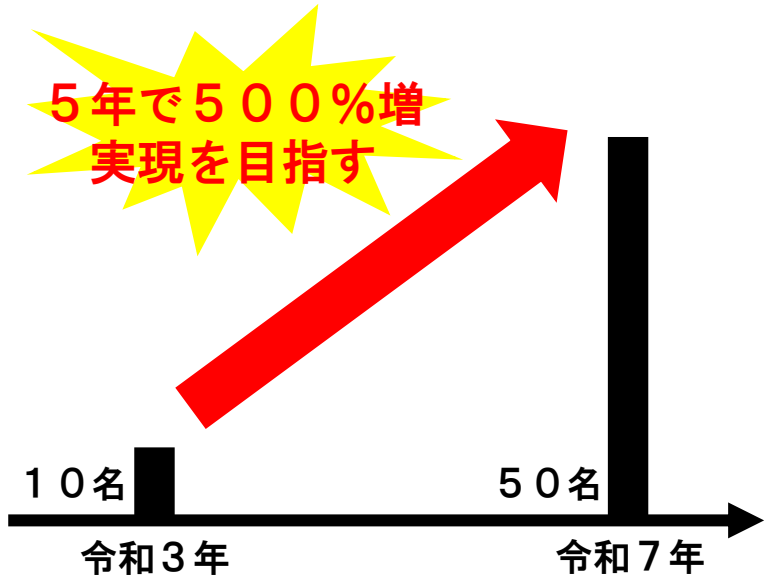
・プログラムに係る履修状況等の情報共有
・履修学生へのサポート体制確立

【教務課】
幸野 憲道



単科大学ならではの教職員の緻密な連携が可能

<履修者数・履修率の目標>



<プログラムの具体的周知方法>

九州情報大学

English 한국어 中文

Q 次ページ 中 大 アクセス

受験生の方 在学生の方 卒業生の方 保護者の方 企業の方

大学案内 学部紹介 大学院紹介 研究紹介 就職・キャリア 入試について 日本語学科紹介

教育プログラム

HOME > 九州情報大学について > 学部紹介 > 教育プログラム

学部紹介

学部長メッセージ >

経営情報学科 >

情報ネットワーク学科 >

教育プログラム >

教職課程 >

ゼミナール >

所属教員 >

KIIS教理・データサイエンス・AI教育プログラム

九州情報大学では、令和元年度1年次入学生のカリキュラムから、「KIIS教理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施しています。コンピュータの発達によりデータが豊富に入手できる時代となり、今はデータを活用する（分析し、意思決定を行う）ようになっています。そのような大量のデータが活用される時代において、一層の活用が必要となります。このプログラムは、特別な半単位は必要ありません。通常の履修単位に下級科目を履修してください。下記条件の教理・データサイエンス・AI教育科目を修得した場合、KIIS教理・データサイエンス・AI教育プログラム修了者（リテラシー・応用基礎）をそれぞれ授与いたします。無防備な状態で社会に出て回らないようチャレンジしてみませんか？

プログラムを修了するメリット

- 今、全国のあらゆる企業が求めているデータサイエンス教育を受けた学生であることが証明される！
- 必ずやる分野・特長で活躍できることが証明される！
- 周りの一歩先を行く職業人になれる！

ベーシックレベル（18単位）

必修科目 選択科目

ホームページに掲載

⑦ その他補足資料

＜学生全員が受講できる工夫＞

リテラシー(18単位)

必修科目	選択科目 (3科目以上修得)
情報リテラシー演習(Ⅱ)	マーケティング論
情報学入門	消費者行動論
基礎数学	マーケティング・リサーチ
情報倫理	経営分析
統計学入門	経営情報学(論)Ⅱ(経営)
経営情報学(論)Ⅰ	ビジネスプログラミング(NW)

両学科共通科目

経営情報学(論)Ⅱは経営情報学科開講科目、ビジネスプログラミングは情報ネットワーク学科開講科目だが、他学科履修制度によって卒業単位認定が可能

＜授業外での学習支援体制＞

